

2024 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和7年3月12日

法人名

園名

学校法人正和学園

幼保連携型認定こども園正和幼稚園

まとめ

全体平均

4.48

第2章第2節

乳児期の園児の保育

第2章第3節

満1歳以上満3歳未満の園児の保育

1歳児の定期利用5名を受け入れている。様々な登園スタイル（週1～5日、一時預かり等）があるため、個々に応じた対応をしている。
海外出身者が数人クラス内にいたこともあり、身の回りに様々な人がいることに気が付いていた。土・光に関する感覚をあげよう表現活動も日常的に取り入れた。電車の音に興味を持ち、実際に行くことができた。収穫体験を行いながら、給食室との連携を取り、すぐに味わったり、食べ比べたりするなど、様々な活動を通して行っていた。

第2章第4節

満3歳以上の園児の教育及び保育

近隣の高齢者施設に訪問したり、町田山崎団地冒険遊び場をきっかけに、地域の方と触れ合う機会が多くなった。園内田んぼや光、氷など、日常の中で気づいたことが多くあった。その気づいたことについて調べたり、意見交換をしたりした。園内で養蚕を行い、繭の糸取りを体験した。その際には、蚕の命も感じながら取り組んだ。様々な素材に親しむ環境が、園内に散りばめられている。保育者主導ではなく、園児が自ら気づき、不思議さを感じて、それについて探究している。

第2章第5節

教育及び保育の実践に関わる配慮事項

正規職員として看護師がおり、保育にも関わっているため、体調の変化に細やかに対応している。園児一人ひとりの情報については、共有できるシステムが構築されている。安全面にも配慮しながら、戸外でも体を動かす機会を多くもっている。同じ年齢で区切って育ちをとらえた一斉に行う保育・教育ではなく、保育者は、園児一人ひとりの姿に目を向けている。先にやり方を伝えるのではなく、園児自身が自ら試したり挑戦したりする過程を大切にしている。園児一人ひとりのペースに合わせて対応している。

第3章

健康及び安全

産業医との1か月ごとの会議と定期的な巡視を行っている。園内田んぼが出来た事により、より日常の中でお米の生育に触れる事が出来た。日常的に用務員が園内を見回っている。学校110番を設置しており警察官がすぐに駆けつけてくださる体制がある。消防署とも連携がはかられており、防災訓練時には実施計画や報告をしている。管理栄養士が各学年の食事の様子を見て回り、アレルギー児、ハラル食対応児にも配慮している。

第4章

子育ての支援

「ゆったりラウンジ@原町田」や「ころころひろば（親子遊びの会）」など、様々な時間帯に保護者が立ち寄れる空間や場所をつくっている。山崎団地との連携により、月に一度「町田山崎団地冒険遊び場」を実施している。近隣の大学生にボランティアに来ていただいたり、地域の高等学校の授業に園内環境を利用したり園児とご家庭が高等学校に行き活動を共にする事により多世代が交流する事が出来た。

第5章

職員の資質向上

地域の大学・高校・小学校・自治会等と継続的につながっていけるよう集まりに出席し、関係性を広げた。全国規模の対外的な発表を複数回行い、園のことを知っていただいた。現場職員が話せる機会を作り出した。養成校との連携も図り、台湾やマラウイなどの海外との交流の機会を継続的に作った。外部研修・他園施設見学や幼稚園協会による研修など、参加できる体制を組むことができた。素材に向き合う感覚を職員同士で語り合えるよう、レゾエミリアの展示見学に数人ごとに職員が参加した。

総合

四季が感じられる起伏に富んだ園庭で、日常的に土や水などの素材に触れ合うことを多く持つ体験が充実している。自ら気づき、不思議さを感じ、探究している。安心した雰囲気の中、自分なりの表現で伝えようとする姿がみられる。歌を多く取り入れたり、雨や風などの自然の音も含めた音をじっくりと聴く経験をより重ねていく。職員は、一人ひとりの伝えたい気持ちを尊重し、それぞれのペースに合わせて対応している。日々の生活や活動のプロセスを丁寧にご家庭へ発信している。地域の方々や学生と協力し合い、駅前や山崎団地など園内にとどまらず、場所・時間・形態・参加方法もご家庭や地域の方々を選択できる地域活動を展開している。自らの専門性を図るために研修を充実させ、学んだことを他の職員と共有し活かしていく体制を組むことができた。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	0	#DIV/0!
「3歳未満児保育」	32	4.44
「3歳以上児保育」	53	4.19
「教育保育の配慮事項」	10	4.70
「健康・安全」	29	4.62
「子育ての支援」	18	4.94
「職員の資質向上」	9	4.78
計	151	4.48

データグラフ

